※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合ｂ	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	私たちの地理総合世界から日本へ（二宮書店）						
副教材等	詳解現代地図　最新版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理総合では大きく三つのことを学習します。一つ目は、現代世界を捉えるための地理的技能の習得のために、中学校までの学習を振り返り、現代世界の結び付きを地理やGISを用いながら学習をします。二つ目に、現代世界の多様性や諸課題について、世界の特色ある生活文化と地理的環境との関わりや地球的課題を解決するための学習を通して、国際理解や国際協力の重要性を学びます。三つ目に、我が国の持続可能な社会づくりに関する地理的認識を養うために、国内外の防災や生活圏の地理的な課題について学び、その課題解決にむけた考察をします。生徒の能力や学習のニーズに応じて、観察や調査、統計、画像、文献などの地理情報の収集、選択、処理、諸資料の地理情報化や地図化などの作業的で具体的な体験活動や主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察しながら学習を深めます。

２　学習の到達目標

- 平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として必要な知識や技能を身につける。
- 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究し解決できる能力を身につける。
- グローバル化する国際社会において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者であろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
中間考査範囲	経済統合による生活文化の変化　～EUと周辺諸国　生活文化の変化～	・産業の発達と地域統合に焦点を当て，ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景を捉え，気候，言語・宗教の分布などを関連させながら主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。 ・地域統合の長所とともにイギリスのEU離脱や加盟各国の移民排斥の動きの強まりなどの課題を整理する。 ・地域間格差が生じている現状を捉え，これからのヨーロッパのよりよい社会を目指して課題について考える。	a：図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え，自然環境や言語，宗教と関連づけて整理できたか。 産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。 言語や宗派の違いを乗り越えEUが統合する背景を理解できたか。 b：ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について，主題図をもとに考察できたか。 EU への加盟国と離脱する国があることをふまえ，EU 統合に伴う生活への影響を考察し，今後の課題について資料をもとに協議できたか。 c：農業，工業の特徴を捉えるとともに，気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。 言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。	考査 小テスト	グループ協議（EU の統合と課題）	リアクションペーパー
		・寒冷な自然環境に焦点を当て，ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など，自然環境と人々の生活との対応を理解する。 ・豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国や日本など東アジアとの結びつきや近年の開発による自然環境への影響を考	a：図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え，生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。 周辺国との関連から産業の発展を捉え，経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。 b：寒冷な気候と生活文化との関連を捉え，開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。	考査 小テスト	グループ協議（日ロの模擬環境開発会議）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

中間考査範囲	寒冷な気候と生活文化 ～ロシア	える。	日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え，自然環境の変化による影響を協議できたか。 c：寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。 経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。			
	グローバル化による生活文化の変化 ～アメリカ・カナダ	・社会経済システムのグローバル化に焦点を当て，主題図や写真などの資料を通じて，民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。 ・企業的農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。 ・アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。	a：図版や写真からアメリカの産業を捉えながら，世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。 経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え，アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。 b：グローバルな観点やからアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え，世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。 産業や世界の貿易体制の変化を考察し，それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。 c：アメリカの社会経済システムを農業，工業などの観点から多面的，多角的に捉え，世界への影響を意欲的に探究できたか。 アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え，世界への影響をふまえながら追究できたか。	考査 小テスト	発表（アメリカの貿易体制と世界の人々の変化）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

中間考査範囲	土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ	・開発に焦点を当て，ラテンアメリカで様々な人びとが生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について，主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響，そして近年の社会経済システムの変化から捉える。 ・鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え，その解決に向けた取り組みを考える。	a：図版や写真から開発の背景を捉え，開発と自然環境，生活文化，産業との関わりを整理できたか。 資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。 b：図版と写真から，自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。 資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について，課題とともに協議できたか。 c：自然環境と生活文化の相互の関連を捉え，開発の背景について意欲的に探究できたか。 都市問題や経済問題，環境問題などについて意欲的に調べ，その要因と解決について協議できたか。	考査 小テスト	グループ協議（諸問題の現状と課題解決）	リアクションペーパー
	植民と移民による生活文化～オセアニア	・開発に焦点を当て，オーストラリアとニュージーランドの自然環境の違いを比較し，主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業を捉え，両国の生活文化の違いを理解する。 ・オーストラリアとニュージーランドの生活文化の歴史的背景や現状と将来について，周辺国とのつながりや多文化社会と関連づけて考える。	a：図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。 周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。 b：２つの国の開発の背景を比較し，共通点と相違点を考察できたか。 開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。 c：２つの国を比較して開発の背景を捉え，植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。 ２つの国の課題を整理し，貿易や移民の変化を追究できたか。	考査 小テスト	レポート（オセアニアと日本のつながり）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

中間考査範囲	地球環境問題	・持続可能な地球社会を考えるうえで，地球規模で起きている環境問題は，一国だけで対応できるものではないこと，多面的・多角的に考えていくことが必要であること，自らとかかわる問題であることを SDGs をふまえて認識する。 ・深刻な地球環境問題を生じている大気汚染，森林減少，砂漠化，気候変動について事例をあげて捉え，それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。	a: 持続可能な社会を目指す SDGs の目標と趣旨を理解できたか。 国際機関のウェブサイトや主題図，統計資料などから，環境問題の現状や原因を情報収集できたか。 環境問題の現状を捉え，原因や影響を図解して整理できたか。 b: 世界のどこで，どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ，持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。 SDGs の目標をふまえ，海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。 c: 地球環境問題のしくみや原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し，どのような行動ができるかを追究できたか。	考査 小テスト	レポート（国際機関から地球環境問題を調べる）	リアクションペーパー
	資源・エネルギー問題	・地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え，偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 ・エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し，これらの解決のための取り組みを SDGs と関連づけて考える。	a:主題図から資源の分布が偏在していることを理解できたか。 限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。 b:主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し，SDGs の目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。 c:日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ，その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し，持続可能な利用について追究できたか。	考査 小テスト	発表（身近な鉱物資源とこれからの利用）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

中間考査範囲	人口・食料問題	・人口が急増している世界の現状を捉えるとともに，人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え，人口問題の背景や問題点を整理する。 ・持続可能な社会をつくるために，飢餓とその要因である人口問題，食料問題について，主題図やグラフなどの資料を集め，グローバル，ローカルのそれぞれ異なる視点から根拠をもとに SDGs と関連づけ対応策を構想する。	a：世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し，人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。 人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。 世界の食料問題を主題図などから現状を認識し，その自然的，社会的な背景を理解できたか。 b：世界の人口問題の現状を資料を比較しながらまとめ，日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。 飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し，その背景と SDGs の目標をふまえ，とくに栄養不足人口が多いサブサハラを例として対策を協議できたか。 c：世界や主要国の人口の推移を捉え，他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。 人口問題と食料問題をそれぞれ捉えながら，両者のつながりを図表などを用いて意欲的に整理し，国際社会の一員として取り組む国際協力を具体的に追究できたか。	考査 小テスト	グループ協議（サブサハラの栄養不足への対策）	リアクションペーパー
中間考査						

※令和４年度以降入学生用

期末考査範囲	居住・都市問題	・世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り，人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえ理解する。 ・途上国の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え，問題の要因を理解しながら，都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ，SDGs と関連づけ都市問題の解決策を考える。	a：世界の視野で都市人口率の増加を捉え，都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できたか。 人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。 b：都市への人口集中を主題図やグラフから捉え，都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。 人口集中と都市問題の発生，途上国と先進国の都市問題を通じ，人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し，SDGs の目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。 c：世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え，都市問題の事例をもとに多角的，多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。 途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に，国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。	考査 小テスト	発表（都市の過密化の事例とその対策提案）	リアクションペーパー
	日本の自然災害と防災	・日本列島の地形と気候の特徴を主題図，グラフ，写真などの資料をもとに，多様性や自然の恩恵があることを認識しながら，自然災害を与える要素があることを理解する。 ・日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため，風水害，火山，地震・津波，都市型の災害の具体的な事例について，新旧の地形図，ハザードマ	a：日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。 日本列島における自然災害について具体的事例を通じて，災害のしくみや特徴，地域性，防災への取り組み方や課題を理解できたか。 地形図やハザードマップを活用し，防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 b：日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真か	考査	グループ協議（身近な地域の災害予測とその非難行動）	リアクションペーパー

※令和４年度以降入学生用

期末考査範囲	日本の自然災害と防災	ップ，気象情報，電子地図などを利用する技能とともに捉える。 ・自然災害はどのような自然環境と関係しているのか，それに対する備えはどうすれば良いのか考え，居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	ら考察できたか。 日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り，それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。 自らの生活圏の防災について，資料から適切に判断し，課題と避難行動を協議できたか。 c：自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し，過去の災害事例を調べることができたか。 GIS などを活用し，自然災害への対策を意欲的に探究できたか。 災害発生時の自助・共助・公助をふまえ，身近な地域で発生が予想される場面を想定して，意欲的に対策を検討できたか。			
	生活圏の諸課題と地域調査	・日本が抱える地域的な課題について，身近な地域を例に取り上げ，人口の少子高齢化，過疎化について景観観察や聞き取りを通じた調査の技能を身につける。 ・現地調査と統計資料によって得られた結果を主題図などにまとめ，他地域と比較して考察する技能を身につける。 ・調査結果をもとに，地域の活性化に向けたまちづくりのプランを発表する。	a：地域的な課題についての調査法を身につけることができたか。 統計資料を収集し，それを主題図に表現する方法をが身についたか。 調査結果を主題図などにまとめ，他地域と比較して考察する技能を身につけることができたか。 b：調査で得られた結果を，主題図や表などに整理できたか。 得られた資料を根拠にして，地域の特徴や課題を見つけ，まちづくりのプランを構想できたか。 c：身近な地域に様々な課題があることを見出し，意欲的に主題図やグラフなどの資料を作成できたか。 主題図などの調査結果を根拠にして，意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し，発表できたか。	考査 小テスト	発表（身近な地域の課題とまちづくりプラン）	リアクションペーパー
期末考査						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度